

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： つながる人工知能の実現 ―AI 間交渉・協調―
2. 研究代表者： 藤田 桂英（東京農工大学 グローバルイノベーション研究院 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は完成された個別の AI が他の AI と人間社会のように協調するという形でつながり、一体の AI がもつ能力を拡張できるつながる人工知能を実現し、AI と人間が協調・交渉によりつながる仕組みを考案し、人間社会に追加的価値を生み出す新しい社会システムの実現を目指すものである。

フェーズ1ではマルチエージェントの分野での AI 同士の交渉という観点で国際会議論文等の多くの研究成果を挙げており評価できる。国際自動交渉エージェント競技会を運営するなど手法の開発だけでなく、研究の枠組みも作っており、国際的に活躍している。

フェーズ2では「AI×人間」の協調・交渉に注力する予定であり、実問題への適用を行う計画は妥当である。サプライチェーンの交渉という限られたドメインから、よりスケールの大きい方向を目指して、社会システム全体の最適化に挑戦していくことを期待する。

以上